

# 世界のデング熱流行状況(更新 4)

2011年7月5日 ProMED 情報

## (1)カンボジア(新華社)

カンボジアは、2011年、デング出血熱の重症例 1,793 名が入院治療を受け、11 名が死亡したと報告しました。

[ProMED 調整者] 世界保健機関西太平洋地域事務局(WPRO)の報告例数によると、6月17日現在、デング出血熱を含むデング熱患者数は 1,924 名で、死亡患者数は 11 名(死亡率 0.6%)ということです。昨年同期は、患者数 1,395 名、死亡患者数 7 名で、今年は 40%の増加です。

## (2)シンガポール

6月24日現在、マーシリング Marsiling 地区で1週間あたりの患者数が 60 名を超え、当地では希にしかみないデングウイルス 3 型がみつかっています。

## (3)モルディブ

6月28日、記念病院(IGMH)で死亡した9カ月の乳児1名がデング熱と確定診断されました。今年になって3例目です。首都マレ Mare 及び周辺の島では患者数が増加しています。

## (4)サウジアラビア(ジェッダ Jeddah )

7月4日現在、ジェッダの病院で1週間あたりの患者数が約 130 名に増加しました。症状の軽い患者は報告されておらず、この者たちを加えると患者数はさらに多いと思われます。

## (5)メキシコ(ハリスコ Jalisco 州)

6月28日現在、全州で患者 66 名が報告されています。昨年の同期は患者 600 名が報告されたと州保健当局は述べています。

## (6)ブラジル

リオ・デ・ジャネイロ州、ボルタレドンダ Volta Redonda

6月28日現在、保健事務局によると35歳女性のデング熱死亡患者が確定診断されました。今年3例目の死亡患者です。最悪な5月は患者数 2,589 名でしたが、6月は 340 名でした。現在、ボルタレドンダは流行状態から脱しつつあります。

サン・パウロ州、ソロカーバ Sorocaba

6月27日現在、低温にもかかわらず患者発生が続いています。新たに8名の患者が報告されました。1月1日~6月25日までの確定診断患者数は 1,714 名で、そのうち 57 名は輸入例でした。

## (7)ペルー(アマゾナス Amazonas)

6月21日現在、同国保健省はデング熱の広汎かつ継続的な流行のために、ロレト Loreto、マードレ・デ・ディオス Madre de Dios、サン・マルティン San Martin およびアマゾナスの保健センターに対して 60 日間の注意報を発令しました。